

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公表番号】特表2003-530431(P2003-530431A)

【公表日】平成15年10月14日(2003.10.14)

【出願番号】特願2001-576006(P2001-576006)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/473 (2006.01)

A 6 1 K 31/282 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/473

A 6 1 K 31/282

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 細胞増殖性疾患の処置のための医薬の製造における、ナフタルイミドおよび抗増殖性剤の使用。

【請求項 2】 ナフタルイミドは、アモナフィド (5 - アミノ - 2 - [2 - (ジメチルアミン)エチル] - 1 H - ベンゾ[d e - ]イソキノリン - 1,3 - (2 H) - ジオン)を含む、請求項 1 記載の使用。

【請求項 3】 ナフタルイミドはナフタルイミドアナログを含む、請求項 1 記載の使用。

【請求項 4】 抗増殖性剤は核酸と相互作用する薬剤を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載の使用。

【請求項 5】 抗増殖性剤は、アルキル化剤、インターカレート剤、金属配位錯体、ピリミジンヌクレオシド、プリンヌクレオシド、核酸関連酵素のインヒビター、または核酸関連タンパク質のインヒビターを含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載の使用。

【請求項 6】 抗増殖性剤はシスプラチンを含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載の使用。

【請求項 7】 ナフタルイミドは抗増殖性剤の投与前に投与する、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載の使用。

【請求項 8】 ナフタルイミドは抗増殖性剤の投与の間に投与する、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載の使用。

【請求項 9】 ナフタルイミドは抗増殖性剤の投与後に投与する、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載の使用。

【請求項 10】 該組成物を用いた該疾患のモジュレートは、該抗増殖性剤の単独の場合よりも大きい、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載の使用。

【請求項 11】 ナフタルイミドおよび抗増殖性剤を含有する、医薬組成物。

【請求項 12】 ナフタルイミドはアモナフィドを含む、請求項 11 記載の組成物。

【請求項 13】 ナフタルイミドはナフタルイミドアナログを含む、請求項 11 記載の組成物。

【請求項 14】 抗増殖性剤は、シスプラチン、パクリタキセル、ビンブラスチン、エトポシド、5 - フルオロウラシル、ホモハリングトニン、コルヒチン、クルクミン、またはパルテノリドを含む、請求項 11 記載の組成物。

【請求項 15】 細胞増殖性疾患は固形腫瘍である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載の使用。

【請求項 16】 モジュレートは腫瘍の増殖の減少を含む、請求項 15 記載の使用。

【請求項 17】 モジュレートは腫瘍の増殖の抑制を含む、請求項 15 記載の使用。

【請求項 18】 モジュレートは腫瘍の大きさを 4 倍にする時間の増加を含む、請求項 15 記載の使用。

【請求項 19】 モジュレートは化学増強効果を含む、請求項 15 記載の使用。